【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成29年3月16日(2017.3.16)

【公開番号】特開2015-152641(P2015-152641A)
【公開日】平成27年8月24日(2015.8.24)
【年通号数】公開・登録公報2015-053
【出願番号】特願2014-23826(P2014-23826)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　15/05　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/02　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/03　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　15/05
Ｇ０３Ｂ　15/02　Ｇ
Ｇ０３Ｂ　15/03　Ｇ
Ｇ０３Ｂ　15/03　Ｗ

【手続補正書】
【提出日】平成29年2月9日(2017.2.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮像装置に着脱可能な照明装置であって、
第１の光源と、
第２の光源と、
前記第１の光源および前記第２の光源を発光させるための電荷を蓄積するメインコンデンサと、
前記第１の光源と前記メインコンデンサとの間で電気的に接続される第１のコイルと、
前記第２の光源と前記メインコンデンサとの間で電気的に接続される第２のコイルと、
を有し、
当該照明装置の左右方向において前記第１のコイル及び前記第２のコイルが前記メインコンデンサと並び、
当該照明装置の左右方向と直交する方向において前記第１のコイルと前記第２のコイルとが並ぶように、前記第１のコイル及び前記第２のコイルを配置することを特徴とする照明装置。
【請求項２】
電池を収納する電池収納部を有し、
前記電池収納部の短手方向において前記第１のコイル及び前記第２のコイルが前記電池収納部と並ぶように、前記第１のコイル及び前記第２のコイルを配置することを特徴とする請求項１に記載の照明装置。
【請求項３】
前記電池収納部は、前記電池収納部の短手方向において前記メインコンデンサと並んでいることを特徴とする請求項２に記載の照明装置。
【請求項４】
前記メインコンデンサの長手方向の長さは、前記電池収納部の長手方向の長さよりも短

いことを特徴とする請求項請求項２または３に記載の照明装置。
【請求項５】
撮像装置に接続される接続端子をさらに有し、
前記接続端子は、前記照明装置の下側の位置に設けられることを特徴とする請求項１ないし４のいずれか１項に記載の照明装置。
【請求項６】
前記前記第１のコイル及び前記第２のコイルは、前記メインコンデンサよりも上側の位置に配置されることを特徴とする請求項１ないし５のいずれか１項に記載の照明装置。
【請求項７】
前記第１のコイルは、当該照明装置の上下方向において前記第２のコイルと並ぶことを特徴とする請求項１ないし６のいずれか１項に記載の照明装置。
【請求項８】
前記第１のコイル及び前記第２のコイルは、当該照明装置の上下方向が短軸となる楕円形状であることを特徴とする請求項１ないし７のいずれか１項に記載の照明装置。
【請求項９】
前記照明装置の左右方向は、装着された撮像装置の撮影光軸と直交する方向であることを特徴とする請求項１ないし８のいずれか１項に記載の照明装置。
【請求項１０】
制御用の電子部品が実装された第１の基板と、
高電圧となる電子部品が実装された第２の基板と、をさらに有し、
前記第１のコイル及び前記第２のコイルは、前記第１の基板と前記第２の基板の間に配置されることを特徴とする請求項１ないし９のいずれか１項に記載の照明装置。
【請求項１１】
前記第１の光源及び前記第２の光源を有する発光部と、
前記メインコンデンサ、前記第１のコイル、前記第２のコイルを有する制御部と、
前記発光部と前記制御部を連結する連結コードと、を有することを特徴とする請求項１ないし１０のいずれか１項に記載の照明装置。
【請求項１２】
撮像装置に着脱可能な照明装置であって、
第１の光源と、
第２の光源と、
前記第１の光源および前記第２の光源を発光させるための電荷を蓄積するメインコンデンサと、
前記第１の光源と前記メインコンデンサとの間で電気的に接続される第１のコイルと、
前記第２の光源と前記メインコンデンサとの間で電気的に接続される第２のコイルと、を有し、
前記メインコンデンサの軸方向前記第１のコイル及び前記第２のコイルが前記メインコンデンサと並び、
前記メインコンデンサの径方向において前記第１のコイルと前記第２のコイルとが並ぶように、前記第１のコイル及び前記第２のコイルを配置することを特徴とする照明装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記目的を達成するために、本発明にかかる照明装置は、撮像装置に着脱可能な照明装置であって、第１の光源と、第２の光源と、前記第１の光源および前記第２の光源を発光させるための電荷を蓄積するメインコンデンサと、前記第１の光源と前記メインコンデンサとの間で電気的に接続される第１のコイルと、前記第２の光源と前記メインコンデンサ

との間で電気的に接続される第２のコイルと、を有し、当該照明装置の左右方向において前記第１のコイル及び前記第２のコイルが前記メインコンデンサと並び、当該照明装置の左右方向と直交する方向において前記第１のコイルと前記第２のコイルとが並ぶように、前記第１のコイル及び前記第２のコイルを配置することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
キセノン管１１ａ、１１ｂから発せられた光は反射傘１２ａ、１２ｂで反射され、さらに円弧反射部材１９ａ、１９ｂにて円弧状に反射され、プリズムレンズ１５ａ、１５ｂにて光束を制御され被写体側へ照射される。センサ１４ａ、１４ｂは、キセノン管１１ａ、１１ｂから発せられた光を受光して、受光結果をストロボマイコン１へ出力する。